

更別村国民健康保険 第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画 (令和06年度～令和11年度)概要版

データヘルス計画の概要

平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」と掲げられた。こうした背景を踏まえて策定した第2期データヘルス計画を見直すとともに、第3期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康保持増進、生活の質(QOL)の維持及び向上を図る。

人口構成および被保険者について

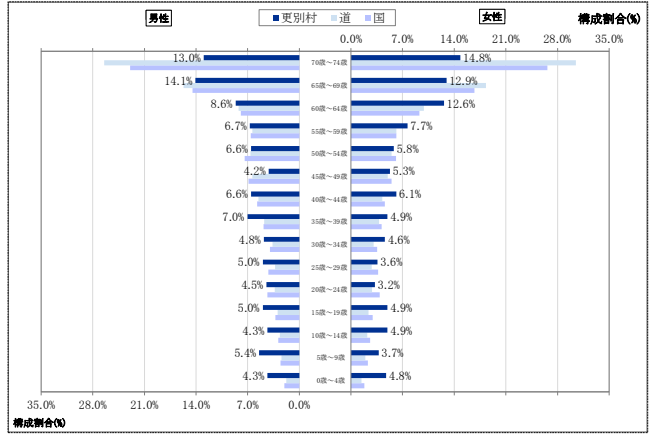
令和4年度を平成30年度と比較すると、国民健康保険被保険者は2.7%減少しており、平均年齢は1.2歳上昇している。平均年齢の上昇率は北海道を上回っている。

人口構成概要(令和4年度)

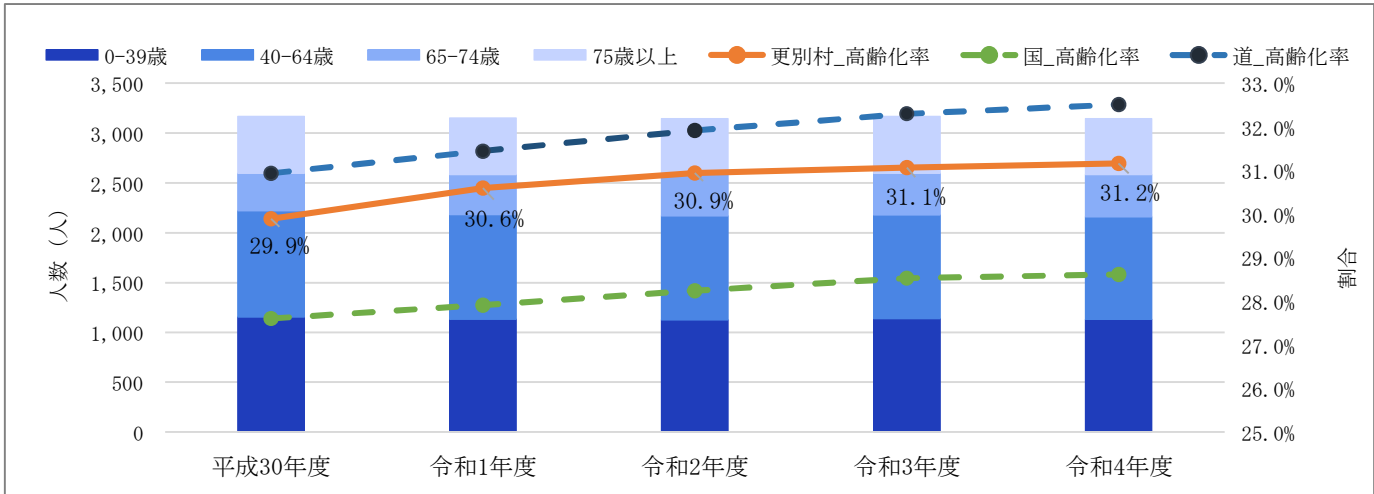
区分	人口総数(人)	高齢化率(65歳以上)	国保被保険者数(人)	国保加入率	国保被保険者平均年齢(歳)	
更別村	平成30年度	3,175	29.9%	1,246	39.1%	44.3
	平成31年度	3,157	30.6%	1,244	39.1%	44.7
	令和2年度	3,151	30.9%	1,220	38.3%	45.3
	令和3年度	3,177	31.1%	1,218	38.2%	45.6
	令和4年度	3,158	31.2%	1,212	39.4%	45.5
道	平成30年度	5,304,413	30.9%	1,162,301	21.7%	53.9
	平成31年度	5,267,762	31.4%	1,125,381	21.0%	54.3
	令和2年度	5,228,732	31.9%	1,101,925	20.6%	54.8
	令和3年度	5,183,687	32.3%	1,069,960	20.0%	55
	令和4年度	5,139,913	32.5%	1,074,364	20.8%	54.2
国	平成30年度	127,443,563	27.6%	28,039,851	22.3%	52.5
	平成31年度	127,138,033	27.9%	27,083,475	21.6%	52.9
	令和2年度	126,654,244	28.2%	26,647,825	21.2%	53.4
	令和3年度	125,927,902	28.5%	25,855,400	20.6%	53.7
	令和4年度	125,416,877	28.6%	27,488,882	22.3%	51.9

男女・年齢階層別にみると、男女ともに前期高齢者の割合が北海道よりも大幅に低く、0歳～44歳の割合が大幅に多くなっている。

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合年齢構成図(令和4年度)



年度別 人口の変化と高齢化率



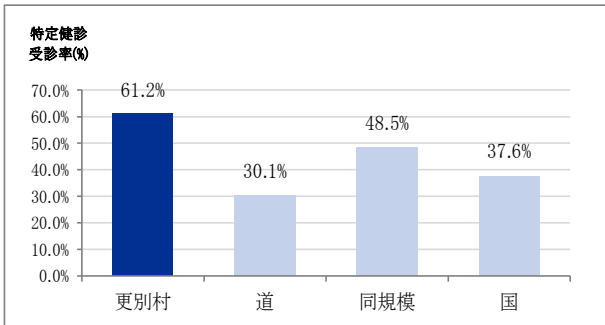
第2期データヘルス計画の達成状況

- ◆中長期的な目標◆「肥満と生活習慣病の関係を理解し、肥満の予防・改善ができる人が増える」「糖尿病を理解し、適正な血糖値を維持できる人が増える」「高血圧症を理解し、適正な血圧を維持できる人が増える」「自分の健康に関心をもち、健康づくりのための取り組みをする人が増える」
- ・メタボ有所見率・肥満所見率ともに横ばい状態で目標値を前後している状態だが、国・道の割合と比べると常に高い数値となっている。
- ・運動教室はリピーターとなる方もおり、目標値を大きく上回っている。
- ・性別に関係なく空腹時血糖値・HbA1c値ともに国・道の割合を大きく上回っており、要治療・要精検者で受診したものの多くが糖尿病の診断または糖代謝異常で経過観察となっている。
- ・重症化前に受診につなげることはできているが、50歳代以降の数値が高いため、対策を講じる必要がある。
- ・自覚症状がないとなかなか受診につながらないため、引き続き受診勧奨を行う必要がある。
- ・広報での減塩レシピの紹介など、意識付けを継続実施していく。

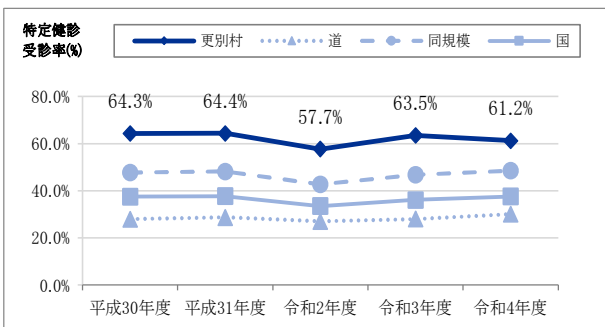
特定健康診査受診率

令和4年度の特定健康診査受診率61.2%である。
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により受診率も下がったが、いずれの年度もコロナ禍であっても高水準を保っている。

特定健康診査受診率(令和4年度)



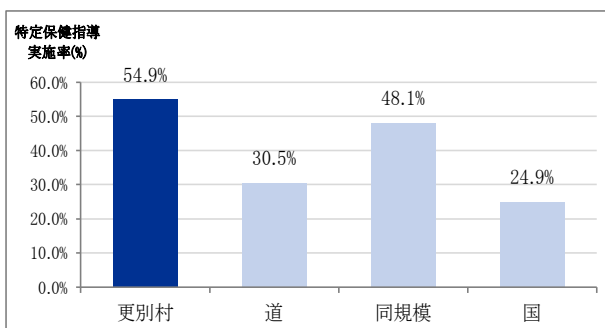
年度別 特定健康診査受診率



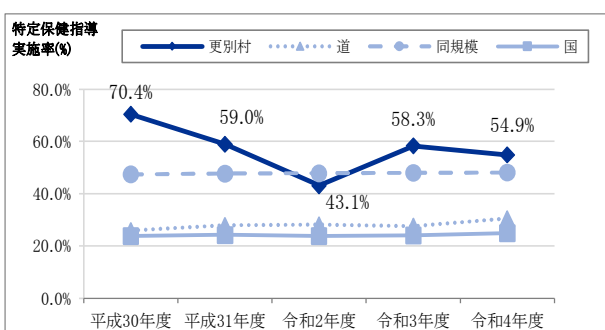
特定保健指導実施率

令和4年度の特定保健指導実施率54.9%である。
平成30年度以降下降している。

特定保健指導実施率(令和4年度)



年度別 特定保健指導実施率

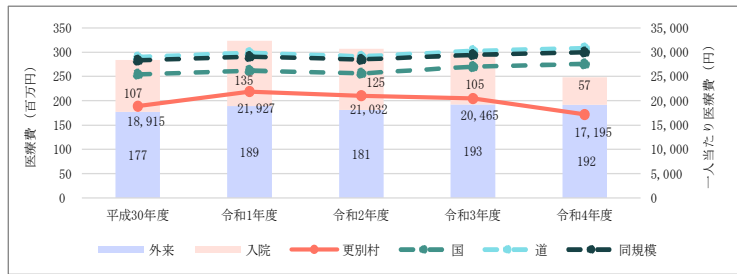


年度別 要介護(支援)認定者の疾病別有病率

被保険者数が減少する中、令和4年度の医療費は平成30年度と比べて12.3%減少しており、被保険者一人当たりの医療費は平成30年度より9.1%減少している。

年度別 総医療費・一人当たりの医療費

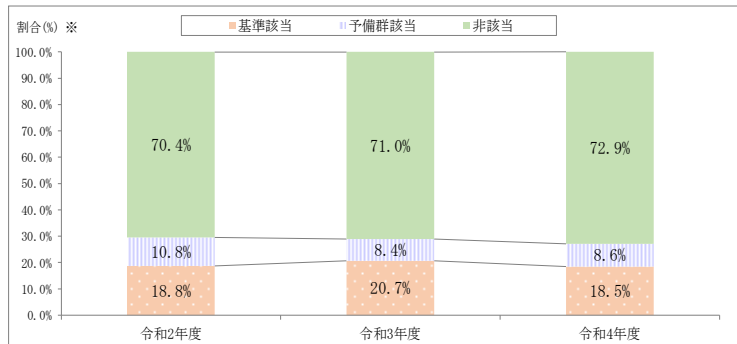
医療費(円)		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	割合	平成30年度年度からの変化率(%)
		総額	283,672,640	323,664,740	306,724,010	297,350,820		
一人当たり医療費(円)	入院	106,519,830	134,911,590	125,419,970	104,803,550	56,750,680	22.8%	-46.7
	外来	177,152,810	188,753,150	181,304,040	192,547,270	192,066,120	77.2%	8.4
	更別村	18,915	21,927	21,032	20,465	17,195	-	-9.1
一人当たり医療費(円)	国	25,437	26,225	25,629	27,039	27,570	-	8.4
	道	28,988	29,872	29,137	30,284	30,847	-	6.4
	同規模	28,319	29,091	28,492	29,439	29,993	-	5.9



年度別 メタボリックシンドローム該当状況

令和4年度を令和2年度と比較すると、基準該当、予備群該当ともに減少している。

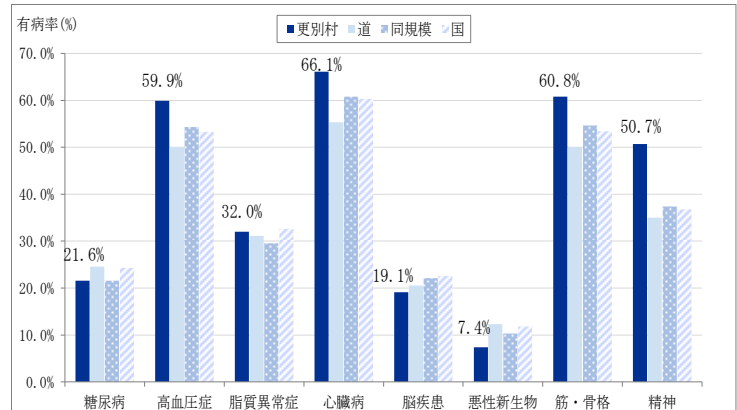
年度別 メタボリックシンドローム該当状況



要介護(支援)認定者の疾病別有病率

第1位が心臓病、第2位が筋・骨格、第3位が高血圧症で、上位3疾病は北海道と同一である。

要介護(支援)認定者の疾病別有病率(令和4年度)



検査項目別有所見者の状況

特定健康診査において、国保は16検査項目中9項目が国の有所見者割合より高く、後期は16検査項目中8項目が北海道の有所見者割合より低くなっている。

検査項目別有所見者の状況(令和4年度) (国保)

区分			BMI	腹囲	中性脂肪	ALT	HDL	血糖	HbA1c	尿酸
			25以上	男性85以上 女性90以上	150以上	31以上	40未満	100以上	5.6以上	7.0以上
更別村	全体 (40歳～74歳)	人数(人)	142	140	81	100	14	163	328	45
		割合(%)	33.2%	32.7%	18.9%	23.4%	3.3%	38.1%	76.6%	10.5%
道		割合(%)	30.7%	34.5%	21.1%	16.1%	3.6%	23.3%	51.8%	6.3%
国		割合(%)	27.1%	35.0%	21.1%	14.5%	3.8%	24.8%	57.1%	6.5%

区分			収縮期血圧	拡張期血圧	LDL	クレアチニン	心電図	眼底検査	non-HDL	eGFR
			130以上	85以上	120以上	1.3以上	所見あり	検査あり	150以上	60未満
更別村	全体 (40歳～74歳)	人数(人)	121	75	226	4	73	266	151	74
		割合(%)	28.3%	17.5%	52.8%	0.9%	17.1%	62.1%	35.3%	17.3%
道		割合(%)	49.7%	22.0%	50.7%	1.0%	14.5%	19.1%	4.3%	19.9%
国		割合(%)	47.5%	21.1%	50.3%	1.2%	21.0%	18.0%	5.6%	20.6%

検査項目別有所見者の状況(令和4年度) (後期)

区分			BMI	腹囲	中性脂肪	ALT	HDL	血糖	HbA1c	尿酸
			25以上	男性85以上 女性90以上	150以上	31以上	40未満	100以上	5.6以上	7.0以上
更別村	全体	人数(人)	66	6	4	4	2	13	13	0
		割合(%)	39.8%	3.6%	2.4%	2.4%	1.2%	7.8%	7.8%	0.0%
道		割合(%)	27.4%	16.5%	1.4%	1.6%	1.5%	5.4%	10.7%	1.4%
国		割合(%)	23.7%	13.9%	1.5%	1.5%	1.7%	5.5%	12.3%	1.5%

区分			収縮期血圧	拡張期血圧	LDL	クレアチニン	心電図	眼底検査	non-HDL	eGFR
			130以上	85以上	120以上	1.3以上	所見あり	検査あり	150以上	60未満
更別村	全体	人数(人)	96	23	24	4	46	6	0	18
		割合(%)	57.8%	13.9%	14.5%	2.4%	27.7%	3.6%	0.0%	10.8%
道		割合(%)	37.0%	7.6%	18.1%	3.6%	19.7%	8.1%	1.6%	9.9%
国		割合(%)	34.2%	6.7%	17.1%	4.3%	30.2%	9.8%	1.3%	11.3%

質問票調査の状況

質問票調査をみると、服薬の脂質異常症は国保、後期ともに北海道、国より高くなっている。食事の摂取方法や運動習慣の改善が必要である。

質問票調査の状況(令和4年度) (国保)

分類	質問項目	全体(40歳～74歳)			
		更別村	道	同規模	国
服薬	服薬_脂質異常症	32.7%	28.6%	27.6%	27.9%
既往歴	既往歴_貧血	24.5%	9.2%	8.8%	10.7%
喫煙	喫煙	19.4%	16.4%	16.4%	13.8%
運動	1回30分以上の運動習慣なし	79.7%	62.6%	67.6%	60.4%
食事	週3回以上就寝夕食	20.1%	14.8%	17.1%	15.7%
飲酒	1日飲酒量(1合未満)	69.9%	59.1%	54.9%	64.1%
生活習慣改善意欲	改善意欲なし	35.7%	26.4%	31.8%	27.6%

質問票調査の状況(令和4年度) (後期)

分類	質問項目	全体(40歳～74歳)			
		更別村	道	同規模	国
服薬	服薬状況_脂質異常症	47.0%	42.1%	41.7%	44.3%
心の健康状態	やや満足	48.5%	42.5%	45.2%	43.7%
食習慣	1日3食きちんと食べる	96.3%	94.1%	95.7%	94.6%
運動転倒	以前に比べて歩く速度が遅い	66.5%	58.2%	61.4%	59.1%
	この1年間に転んだ	26.8%	19.6%	21.2%	18.1%
認知機能	今日の日付がわからない時あり	31.9%	24.1%	24.4%	24.8%
喫煙	吸っていない	85.2%	76.5%	76.8%	77.1%
ソーシャルサポート	身近に相談できる人がいる	92.0%	94.1%	94.7%	95.1%

